『新修志摩町史』目次

凡例　発刊にあたって　発刊のことば　例　絵　志摩町長　九州大学名誉教授　丸山雍成　丸山雍成　木崎亨

【上巻】

第一編　自然

第一章　志摩町の自然 …… 三
　第一節　位置と面積 …… 三
　　一　中心部の位置・町の面積 …… 三
　　糸島半島の北半に位置する　西方海上の姫島と島嶼群島　始十郡と志摩郡
　第二節　地形 …… 四
　　一　地形分類 …… 四
　　山地・丘陵地
　第三節　志摩町の地質 …… 六
　　一　地質概論 …… 六
　　未固結堆積物
　　二　玄武岩と基盤岩類 …… 九
　　玄武岩類　花崗岩類　三郡変成岩類
　　三　「糸島水道」を考える …… 二
　　地形学的な検討　歴史学からの検討　遺跡発掘からの検討
　　地質学からの検討
　第四節　気候 …… 六
　　一　気候概要 …… 六
　　志摩町の位置と気候特性
　　二　志摩町の季節の特徴 …… 八
　　旬平年値
　　三　気温の経年変化 …… 九
　　三十年間で一・五度上昇
　　（コラム）温暖化の進行と気候
　第五節　植物 …… 三
　　環境と植生
　　一　町の花・町の木 …… 三
　　二　天然記念物「六所神社の大楠」 …… 三
　　三　絶滅危惧種 …… 三
　　四　絶滅危惧種 …… 四
　　（コラム）泉川自然博物園と「はまぼうの会」
　第六節　動物 …… 三
　　一　鳥類 …… 三
　　哺乳綱　鳥綱　爬虫綱
　　二　昆虫類 …… 五
　　昆虫綱　昆虫綱ゴキブリ目　昆虫綱トンボ目　昆虫綱コウチュウ目　昆虫綱カメムシ目　昆虫綱メス目
　　三　魚介・甲殻類 …… 四
　　魚類　甲殻綱　カブトガニ　貝類　ハマグリ

第二章　生態系の変化と対応 …… 五
　第一節　動物生態系の変化 …… 五
　　一　動物生態系の変化 …… 五
　　温暖化傾向と動物の分布　飼育ペット放逐による野生化
　　山の荒廃と有害鳥獣　工事による生態系の分断　多様な自然環境が生物多様性を維持
　　二　カブトガニ産卵地の環境 …… 六
　　一九八〇年代の産卵状況　砂客土による産卵地の復活
　　三　軟体動物ほか …… 六
　　生活圏の消滅あるいは変化　海浜性貝類と松くい虫防除
　　外来種の問題　スクミリンゴガイと在来のタニシ類
　第一節　変化への対応 …… 六
　　一　地球温暖化 …… 六
　　地球規模の温暖化が始まっている　現在進められている地球温暖化対策　地域での新たな温暖化対策
　　二　松くい虫の防除対策 …… 七
　　松枯れの原因　防除の効果と問題点　薬剤の空中散布

第二編　原始

第一章　旧石器・縄文時代の糸島地域 …… 七
　第一節　日本列島の形成と人類の出現・移動 …… 七
　　一　自然環境の変化と人類の進化 …… 七
　　地質学的成果　人類の出現と移動　後期旧石器文化
　　二　糸島の旧石器時代遺跡 …… 八
　第二節　縄文時代のくらし …… 八
　　一　縄文時代の移り変わり …… 八
　　草創期・早期　前期・中期　後期　晩期
　　二　糸島地域の縄文時代遺跡 …… 七
　　草創期・早期の遺跡　前期・中期の遺跡　後期の遺跡　晩期の遺跡
　　三　縄文時代の人びとのくらし …… 九
　　縄文人　装身具　住居　植物質食料採集活動　狩猟・漁撈　水稲耕作　木製品　石材の獲得　呪術　埋葬
第二章　弥生時代の志摩地域 …… 一〇
　第一節　弥生時代研究史と志摩地域 …… 一〇
　　弥生時代研究と志摩地域
　第二節　弥生文化の成立 …… 一一
　　一　弥生時代の始まり …… 一一
　　研究略史　玄界灘沿岸における弥生時代の開始
　　二　弥生文化開始期の志摩 …… 一五
　　弥生時代開始期の志摩地域
　　三　弥生文化開始の担い手 …… 一七
　　新町遺跡の出土人骨から　縄文人と弥生人　人口増加等の問題点
　第三節　弥生時代の年代 …… 一一
　　甕棺墓の副葬品と弥生時代の年代　理化学的方法による弥生時代年代論　発掘調査成果からの検証
　第四節　志摩地域における弥生社会の発展 …… 一三
　　一　志摩地域は弥生時代には島であったか …… 一三
　　弥生時代の海岸線
　　二　単位地域の設定と各単位地区の概要 …… 一四
　　弥生時代遺跡の分布　集落間の争いと地域共同体の発展
　第五節　志摩地域の弥生集落 …… 一四
第三章　中国・朝鮮史書に見る九州とどこに見る志摩地域 …… 一四
　第一節　中国史書に記された九州と志摩地域 …… 一四
　　『漢書』より『魏志』倭人伝まで　倭人伝に記された旅程
　　人一　築城秘話一　真備と仲麻呂一　築城の理由　怡土城の終焉　怡土城と吉備から後出された吉備政分　怡土城の見る仏教地
　九　遣新羅使と『万葉集』等の中の志摩地域 …… 二六
　　悲劇の派遣団　天然居の愛迷と遣新羅使の歌碑　韓国での詠歌　引津亭での詠歌
　第四節　律令制の動揺・衰退 …… 二七
　　一　志麻郡の調庸制と観世音寺領船荘 …… 二七
　　志麻郡の調　観世音寺の強奪と郡司の関係　観世音寺の煩
　　二　筑紫山　「塩釜問文」の愛憎　船荘の成立とその性格
　　三　刀伊の入寇と糸島地域 …… 二九
　　刀伊の入寇　経過　刀伊による略奪　刀伊防衛・追撃の武
　　志摩郡船越津をめぐって　今山遺跡のドック跡　長崎港近
　　の警備「越度」　渡唐禁制　禁酒の法的根拠

第四編　中世

第一章　鎌倉時代の志摩地域 …… 二九
　第一節　平氏政権と大宰府官原田氏の配策 …… 二九
　　一　平氏政権とその九州進出　平清盛と原田種直の関係　大蔵
　　性原田氏の軍事基盤
　　二　源平合戦にみる原田種直の栄枯 …… 二六
　　中央政局と原田種直　壇ノ浦の合戦と種直の所領
　　三　鎌倉幕府の成立と鎮西奉行（探題） …… 二九
　　鎌倉幕府の成立　鎮西奉行（探題）　守護の職務と京都大番役等
　　四　関東武士の西遷と地頭・御家人 …… 三〇
　　西遷御家人の恵利頃一　在地の御家人・小地頭たち一
　　五　原田氏の雌伏と捷伏と承久の乱 …… 三〇
　　原田氏の雌伏と捷伏　承久の乱の状況
　　六　蒙古襲来と怡土城・志摩地域の武士 …… 三〇
　　文永の役　元寇防塁　高麗征討の計画　弘安の役　その後
　　の対外関係
　第二節　庄園・公領制の変質 …… 三七
　　一　糸島地域における諸庄園の分布と特徴 …… 三七
　　園起源と庄園　北部九州の庄園　長覚庄　井田庄　井原庄
　　倉持庄　深江庄　原田庄　蓑島別符　船越庄　板持庄　波多江庄　安倉庄　桑原庄
　　二　怡土庄の成立過程と構造 …… 三三
　　怡土庄の成立と復興　怡土庄の支配関係　怡土庄内の名
　　三　怡土庄支糸（志摩）方の名主連合と物地頭職大友氏 …… 三四
　　元寇後の着目　論功行賞後の怡土庄支配　怡土庄支糸分の名主連合　領国経営　怡土庄の名制の変化
　　大友氏と怡土庄支配の衰退　鎮西探題の動揺　怡土庄内の名
　　四　武士の庄園侵略と悪党の世界 …… 三九
　　武士の庄園侵略　在地支配の動揺　悪党の跳梁　糸島半島
　　悪党の現況
第二章　南北朝・室町時代の志摩地域 …… 三三
　第一節　建武の中興と南北朝内乱 …… 三三
　　一　建武の中興と怡土・志摩地域 …… 三三
　　元弘の変と北部九州の武士　建武の新政と九州武士の上洛
　　新政の破綻と多々良浜の戦　怡土庄の庄家・土豪の憂鬱
　　怡土庄中村氏の活動
　　人一　築城秘話一　真備と仲麻呂一　築城の理由　怡土城の終焉　怡土城と吉備から後出された吉備政分
　　二　南北朝の内乱と原田氏らの動向 …… 三六
　　―懐良親王・少弐氏・大友氏との関係―
　　征西将軍宮と将軍方・佐殿方　在地の動向と混迷　征西将軍宮と糸島地域の武士　原田氏の動向　懐良親王の対明関係　今川了俊の活動と南北朝合一　内乱下の糸島地域　志摩郡井田原名の「地下城」　土一揆の基盤―吉姓の台頭―　「惣庄」の法　初村右師吉・小金丸のこと　庄園制の変貌
　　三　志賀社領とその集落 …… 三四
　　志賀社の地頭職　志賀社領の下地中分　志賀社地頭職をめぐる紛議　志賀集落衰退復原へ
　第一節　室町時代の志摩地域 …… 三六
　　一　大内盛見の九州進出と原田氏 …… 三六
　　南北朝合一後の九州の政情　応永の乱と倭寇の実態　九州の争乱と大内盛見の敗死
　　二　博多龍園山笠見物と少弐・原田両氏の闘諍 …… 三四
　　少弐・松浦氏の戦闘と龍園山笠　大内・少弐の対立と原田氏
　　三　日明貿易と原田種親らの朝鮮通交 …… 三四
　　日明貿易の開始と博多商人配置　日明貿易の推移と遣明船
　　日朝貿易と北部九州　原田氏ら
　第三章　戦国時代の志摩地域 …… 三四
　第一節　戦国時代前期の情勢 …… 三四
　　一　大内氏と高祖城主原田氏との関係 …… 三四
　　―周防山口参勤―
　　応仁・文明の乱と原田氏　原田興種の山口参勤　原田隆種の興起　「現形衆」の動き　原田隆種の勢力挽回
　　二　高祖・柑子岳城・親山城の状況 …… 三四
　　三　毛利氏の台頭と大友氏　原田氏
　　大友義鎮と原田隆種　毛利元就と原田子栄
　第一節　戦国時代後期の情勢 …… 三四
　　一　原田隆種（了栄）の活躍と大友氏 …… 三四
　　戦国諸侍の動向　龍造寺隆信の興起　第一次
　　中　生の松原合戦　池田河原の戦い　大友宗麟支配下の原田家
　　二　原田了栄の三部支配と龍造寺氏 …… 三六
　　龍造寺氏の進出と第一次生の松原合戦　第三次生の松原合戦　原田信種と龍家合戦
　　三　原田氏の所領と武士の生活 …… 三三
　　原田氏の所領規模　原田氏の軍団編成　原田領の支城群と村落支配　在番と在宅
　　四　戦国武将・領民の生活文化 …… 三七
　　原田氏の年中行事と文芸　原田家中の祭配行事　「稲荷」と土民の信仰
　　五　戦国三大名の変転と原田氏 …… 三四
　　島津氏の隆盛　原田氏の進退等・島津氏への対応
　第三節　志摩郡の戦国山城・丘城 …… 三六
　　一　中世後期の北部九州と筑前国志摩郡 …… 三六
　　糸島地域における諸氏の勢力推移　大友宗麟領の変遷
　　二　城郭と地域社会 …… 三六
　　三　志摩郡の戦国山城・丘城 …… 三七
　　A　志摩町内の事例
　　B　志摩郡の興亡城郭
　　C　志摩郡の戦国山城・丘城の分布と志摩郡 …… 三九
　　a　古墳文化の発展 …… 三九
　　a　古墳の登場　弥生と古墳の間で　弥生王墓から前方後円墳へ　古墳時代のはじまり　高石の前方後円墳　怡土・志摩地域の古墳の分布
　　b　前方後円墳の分布と変遷　前方後円墳の分布　初川流域の首長墓　小首長墓の出現　志摩最大の前方後円墳
　　c　横穴式石室の出現と普及　横穴式石室の導入　元岡・桑原地区の首長墓
　　d　首長墓の分類と時期的変遷　志摩地域の首長墓
　　e　後期古墳の展開　群集墳の時代　糸島最大級の横穴式石室　金銅製威信財の副葬品の背景
　　f　古墳の副葬品からみた人びとの生活　漁撈具　鉄の本格生産の開始の予兆
　　二　磐井と筑紫君磐井の海の民 …… 四四
　　新羅と宗形の海人　西の壱岐の海人　東の宗形君　糟屋をめぐる筑紫君と政権
　　三　地方豪族の反乱と対外関係 …… 四六
　　a　文献史料にみえる豪族　県主　稲置　国造制　国造の職掌　筑紫国造　国造制の終焉
　　b　文献史料からみた九州の豪族の類型　第一類型　第二類型　第三類型
　　c　文献史学からみた磐井の乱　『日本書紀』にみる磐井の乱　『古事記』にみる磐井の乱　『筑後国風土記』にみる磐井の乱　『筑後国風土記』にみる磐井の腰墓　「国造本紀」にみる磐井の乱　磐井の乱の諸史料　磐井の乱後の北部九州　筑紫の豪族とヤマト政権　物部と大伴部
　　d　乱後の屯倉　筑紫「造」の屯倉　筑紫火（肥）君の連出　肥君とヤマト政権　筑紫君と肥君
　　肥君の連出に伴う移住
　　四　渡来人の諸問題 …… 四〇
　　渡来人　アメノヒボコ伝説　来目皇子と渡来系の人びと　宇佐吉志氏
　　五　ヤマト政権下の志摩郡と鉄生産 …… 四六
　　古代の鉄生産　古代志摩地域の鉄生産　古代志摩地域の製塩　古代の生産基地としての志摩地域
　　（コラム）可也山と仙郡山
　第二章　律令国家の展開 …… 四五
　第一節　推古朝と来目皇子の志摩駐屯 …… 四五
　　一　那津官家設置 …… 四五
　　那津官家の設置　那津官家設置の詔の構成　那津の役　阿蘇君の役割
　　二　来目皇子の「嶋郡」駐屯
　　―船舶を集め軍粮を運ぶ―
　　物部氏の敗北と筑紫への影響　来目皇子と船舶・軍粮　益城君と宗形郡　来目皇子の駐屯の目的
　　三　筑紫大宰の派遣 …… 四三
　第二節　大化の改新前後の内外情勢 …… 四三
　　一　改新の詔と政治体制の形成 …… 四三
　　大化の改新　改新政治の存否　「乙巳の変」と筑紫（九州）
　　二　対外情勢の緊迫と白村江の敗戦
　　―筑紫の朝鮮式山城と稲積城―
　　七世紀における東アジア情勢　「白村江」前の倭（日本）
　　「朝倉宮」を中心とした防衛プラン　雷山神籠石　北水門
　　部　南水門部　白村江の敗い　「白村江」後の東アジア情勢　那津官家から大宰府へ
　　三　稲積城について …… 四三
　　文献史料からの考察　稲積城の所在地　中山城にもとづいた論者　稲積城とは　八世紀における東アジア情勢
　第三節　律令制の施行 …… 四四
　　一　地方行政組織の整備と志麻郡 …… 四四
　　筑前国の成立　志麻郡の成立　里（郷）の成立
　　二　志麻郡の郷（里）名 …… 四六
　　志麻郡の七郷（里）　鮮良郷　久米郷　登美郷　明敷郷　鶴永郷　川辺郷　志麻郷　そのほか
　　三　川辺里の比定地をめぐる一つの説 …… 四四
　　川辺里＝馬場村中心説　川辺里＝元岡村中心説　里制と川辺里の比定地
　　四　「筑前国嶋郡川邊里戸籍」の受田額 …… 四四
　　戸籍の受田額　戸籍記載の受田額の問題点　口分田の班給地
　　五　「筑前国嶋郡川邊里戸籍」による社会構成
　　―肥君猪手と一一四人の家族―
　　「筑前国嶋郡川邊里戸籍」　戸籍の成立年代　川辺里の家族　肥君猪手の家族
　　六　元岡・桑原遺跡群と志麻郡家 …… 四〇
　　考古学からの郡家推定
　　七　志麻郡の卜部と解除木簡 …… 四三
　　卜部と解除　肥君猪手の墓所をめぐって
　　（コラム）地名「火山」と「大人」
　　八　怡土城造営と志麻地域 …… 四九
　　怡土城とは　怡土城築城地理的環境　築城の経過　渤海国との関係と新羅征討計画　吉備真備　築城秘話一　真備と防人一　築城秘話一　真備と仲麻呂一　築城の理由　怡土城の終焉　怡土城と吉備から後出された吉備政分　怡土城の見る仏教地
　　九　遣新羅使と『万葉集』等の中の志摩地域 …… 四六
　　悲劇の派遣団　天然居の愛迷と遣新羅使の歌碑　韓国での詠歌　引津亭での詠歌
　第四節　律令制の動揺・衰退 …… 四七
　　一　志麻郡の調庸制と観世音寺領船荘 …… 四七
　　志麻郡の調　観世音寺の強奪と郡司の関係　観世音寺の煩
　　二　筑紫山　「塩釜問文」の愛憎　船荘の成立とその性格
　　三　刀伊の入寇と糸島地域 …… 四九
　　刀伊の入寇　経過　刀伊による略奪　刀伊防衛・追撃の武
　　志摩郡船越津をめぐって　今山遺跡のドック跡　長崎港近
　　の警備「越度」　渡唐禁制　禁酒の法的根拠